



学校だより 11月

平成30年10月31日 横浜市立芹が谷南小学校

言葉と心を豊かにする読書

学校長 高木 篤子



読書の秋、どのような本に出会えましたか。私は休日に近所の書店に立ち寄り、平積みされていたシリーズ最新作を買いました。ふと目にした本に惹かれることもあります、友人に薦められたり、雑誌やテレビ番組で紹介されたりした本を手にすることもあるでしょう。

学校では、読書に関する様々な機会をつくり、子どもたちが本に親しむように働きかけています。そして、子どもたちが本に興味をもち、言葉と心を豊かにするように支援しています。

<授業での読書活動>

国語の授業での読書活動例を紹介します。5年生は、9月に「大造じいさんとガン」の学習で、棕鳩十の物語をビブリオバトルという方法で伝えることを目的に、同じ作者の物語の魅力をとらえながら読みを広げることができました。1年生は、10月に「自どう車くらべ」の学習で、図鑑などで自動車のつくりと働きを探し、自分たちで自動車カルタを作りました。どちらの授業も、子どもたちが本を囲んで話し合ったり、本を見ながら自分で文や文章を書いたりする姿が印象的でした。

このほかにも、国語の教材や他教科等の学習をきっかけに、発展的に読書を行っています。

<区図書館との連携>

3年生は、7月に港南図書館に行きました。司書の方が読み聞かせの後、館内の案内と利用の説明をしてくださいました。子どもたちが自由に館内を見学してお気に入りの本を見付け、自分の新しい図書カードを手にして本を借りて帰ることもできました。

学校と区や市の図書館との連携において、授業に使う本をセットで学校に貸し出してもらうことができ、学校司書の川口さんを窓口にも各学年の学習に合わせてセット貸し出しを活用しています。

<児童図書委員会の活動>

5・6年生の図書委員会の児童は、常時活動として本の整理や貸し出しを行っています。10月29日から11月9日の読書週間には、図書室を利用する児童が増えて本に興味をもつきっかけとなるように、読書クイズと読書の木の掲示を計画しています。司書教諭である松本先生は、子どもたちがもっと本を好きになってほしいという思いをもって学校図書館教育を推進しています。

<図書・読み聞かせボランティアの協力>

保護者及び地域のボランティアの方々に、子どもたちの読書活動にご尽力いただいています。図書ボランティアの方は季節や行事に合わせて図書室をきれいに飾ってくださり、図書室が明るい雰囲気になっています。読み聞かせボランティアの方には、朝読書の時間の読み聞かせにより、子どもたちを本の世界にいざなっていただいています。読書週間には、放送と体育館で全校読み聞かせの企画があり、楽しみにしています。図書・読み聞かせボランティアの方々には、読書環境を整え、子どもとふれあいながらご支援いただいておりますことをありがたく思っています。



読書しながら多くの言葉と出会い、次第に語彙が増えていきます。感動する物語や知的な好奇心が刺激される科学的な本などを読むことで、考えが広がったり深まったりします。ぜひ、ご家庭でも学校でも、言葉と心をより豊かにする本と向き合う時間を大切にしていましょ。